

NPOを磨く15の力

【岩手版】

2011年3月11日に発災した東日本大震災では、あまりにも尊い多くの命が奪われてしまいました。また、誰も経験したことのない大きな災害だったために、行政機関ですら機能不全に陥る事態を多くの市民が経験をしました。

そのような中で、個別の具体的なニーズに対応できるボランティアやNPOへの期待は、これまでにないほど大きなものとなり、被災者への義援金のみならず、主に岩手県、宮城県、福島県の被災3県(以下、被災地域)で活動するNPOへの活動支援金は、過去に例のないほど寄せられ、実際の活動を支えています。

被災地域が復興への長い道のりをたどるには、言うまでもなく一過性の物質的な支援では不十分です。外部からの支援は多く入っているものの、それらは、被災地域で、被災地域のために、被災地域の人たちや市民活動団体(NPO)が活かしてこそ有益な支援となります。しかしながら現状は、芽はたくさん出ているものの、被災地域のNPO自身も被災しており大きく力を落としています。また、もともと行政が強い地域性もあり、行政や企業と対等に活動を推進することができるNPOがさらに増えるということが重要です。

今まさに、継続的かつ多面的な支援を被災された地域の中からつくりあげるための、地域のNPOのキャパシティビルディングとNPOリーダー育成が急務となっています。

このプロジェクトは認定特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンと認定特定非営利活動法人日本NPOセンターが、全国のNPO支援センターと連携し、被災地域のNPOの人材育成を目指して行うものです。

市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト

主催： 特定非営利活動法人 日本NPOセンター

協力： 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

岩手担当：特定非営利活動法人いわて連携復興センター

荻巻

[20120518]

第1回 1日目 5/30 10:00~16:10 花巻市交流会館(花巻市)

基盤編
観る
力

日本と岩手の NPO のカタチ

講師: 山岡 義典 (特定非営利活動法人 日本NPOセンター 代表理事)

そもそも、日本で、何故、「今」市民活動(NPO)がこれほど重要視されているのだろうか。その国の歴史や文化と切り離れた表層的な理解ではない、「魂」の市民活動(NPO)についての理解を共有します。また、福島市民活動団体の全体像も概観します。

基盤編
興す
力

価値を生み出す NPO の姿

講師: 手塚 明美 (特定非営利活動法人 藤沢市市民活動推進連絡会 理事・事務局長)

NPOの支え(ささえ)は、市民の信頼と共感です。そして、要(かなめ)は、市民の満足と支援です。NPOに出逢い、理解し、信頼と共感を覚え、支援の気持ちが芽生え、その行為に満足感を覚える。この一連の流れが、市民の心に落ちた時、NPOの価値と、活動の継続性が生まれます。「興す力」では、「知っておきたいNPOのこと—信頼されるNPOの7つの条件—」をテキストに価値を生み出すNPOの姿を学びます。

2日目 5/31 10:00~13:00 東和総合福祉センター(花巻市)

事業編
提案する
力

思いを形に、共感を得る企画

講師: 古賀 桃子 (特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター 代表)

営利・非営利を問わず、どの組織でも、確実な成果を生み出すためには、構想を適切な言葉や数字で書面に表すプロセスと、他者に分かりやすく提案する機会が不可欠です。とりわけ、NPOは、より多くの人や組織からの理解や共感、協力が、ミッションを達成する源泉ともなってきます。そこで、このコマでは、思いを一つの事業として形を成していくために不可欠な企画力と、他者に伝えて共感や連携を引き出す提案力を、演習を重ねながら体得していただきます。

第2回 北上会場 6/11 14:00~20:20 北上市生涯学習センター 大槌会場 6/12 10:00~17:00 大槌町中央公民館

事業編
組立てる
力

事業計画を単年度と中長期で捉える

講師: 調整中

地域の課題解決のために継続的な活動を進めるためには、将来の地域、解決すべき課題、団体の状態を想定し、組織としての中長期的な取り組み目標を立てることが重要です。次に中長期目標を基に、より具体的な事業内容、実施時期、事業スタッフの配置、予算計画などを検討して単年度の計画を作成します。必要性や思いだけで計画しても、実施に無理があれば組織としての信頼を失います。組織の目指す方向と単年度の事業の整合性やあり方を視点に考えます。

事業編
見通す
力

組織の財源のあり方と資金管理

講師: 調整中

計画に沿った取り組みを進めるには、その裏付けとなる財源について考えておく必要があります。活動の目的と実現のための財源バランスの見極めは安定した組織経営には欠かせない視点です。また、単年度の収支においても、月々の収支バランスを念頭に置いた管理をしないと資金がショートするなど、さまざまな課題が発生し、組織としての信頼にも影響します。思いを実現させながら、無理や無駄のない財源と予算のあり方を視点に考えます。

第3回 花巻会場 6/25 10:00~17:00 なはんプラザ(花巻市)
釜石会場 6/26 10:00~17:00 釜石地区合同庁舎

組織編
持続する
力

パワーを生み出す組織のあり方

講師: 横田 能洋 (特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ 事務局長)

限られた時間とマンパワーで成果を上げるには、会員、理事、職員がそれぞれの役割を発揮するチーム力を高めることが大切です。代表や事務局が孤軍奮闘する個人経営的組織から、多くの人を巻き込みチームで分担する組織にどう発展させるか、組織の私物化をふせぎ、スタッフが安心して働けて、外部からも信頼を得られる組織をどうつくっていけばいいかを考えます。

組織編
推進する
力

ここで差が出るマネジメント

講師: 片山 信彦 (特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長)

NPOは自らのミッション達成を通して、社会的課題を解決するために設立された組織体です。組織であれば、そこに与えられた各種の資源(人、モノ、金、情報など)を有効に活用(マネジメント)することが求められます。とすると、NPOにとってもマネジメントは必要なのでしょうか。そこで、なぜNPOでもマネジメントが必要なのか、という問いから始めて、自らのミッションを大切にしつつ、且つ効率的、効果的でNPOらしい組織マネジメントについて共に学びます。

組織編
育てる
力

成長する人づくり

講師: 横田 能洋 (特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ 事務局長)

NPO活動の質はスタッフの質とモチベーションによってかわります。人数も少なく内部研修の機会もつくりにくい現場において、本人の関心や意欲を大事にしながらも、組織とミッションに貢献できる人材に成長できるようにするために、どのようなスタッフ育成をすればいいかを考えます。NPOスタッフに求められる資質やスキルとは何か、視野を広げ意欲を高める機会づくりなどを探ります。

第4回 内陸会場 7/6 13:00~18:10 (調整中)
釜石会場 7/7 10:30~16:00 釜石地区合同庁舎

組織編
巻き込む
力

思いを受け止め共感を広げるボランティアコーディネート

講師: 水谷 綾 (社会福祉法人 大阪ボランティア協会 事務局長)

NPOの活動を支える原動力は、その支え手である人の自発性。自発的に動く人であるボランティアの参加と継続的な活動を支えるためには、その一人ひとりの力と可能性が発揮できるように働きかける「ボランティアコーディネーション」が重要な役割を果たします。多様な人や組織を対等につなぎ、活動の支え手としての力を発揮し、総合力や新しい解決力を生み出すために必要な要素は何かについて、当講座では講義とワークを通じて学びます。

組織編
整える
力

安心・納得・自己実現の労務管理

講師: 調整中

経営資源に限りがある中で、スタッフが納得し安心して働ける環境をどうつくるか。ボランティア組織から事業体に移行する中で、就業のルールや勤務記録の仕方、報酬の決め方や保険加入をどうするかを決める必要が生じます。自発的な労働という特性があるNPOの職場で、勤務とボランティアで行うことをどう整理し、スタッフ間でどう共有するか、なども考えます。

組織編
組む
力

健全で成果が出るパートナーシップ

講師: 手塚 明美 (特定非営利活動法人 藤沢市市民活動推進連絡会 理事/事務局長)

公共を支える新しい公共という考え方の中から、『共同』でも『協同』でもなく『協働』が、一般的に使われるようになりました。現場ではその言葉をどのようにコントロールしているのでしょうか。行政との協働は、それぞれの文化が異なるため、まず、互いを理解し、信頼関係を構築することから始めます。数々の協働事例から、社会的に信頼され、健全で成果が出る、協働の姿とNPOの姿勢を学びます。

第5回 内陸会場 7/23 10:30~16:00 (調整中)
釜石会場 7/24 10:30~16:00 釜石地区合同庁舎

組織編
振り返る
力

やれば役立つラクラク評価

講師: 片山 信彦 (特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長)

多くのNPOはミッション、ビジョンの実現をめざして活動を展開します。その場合、いかにして活動や事業を実施するかと言う点に関心が集中しがちです。しかしより効率的、効果的な事業の実施、また団体としての成長を考えると、何らかの評価を行い、その結果を次の活動に生かすことが重要です。今回は、なぜ評価が必要なのか、評価とは何か、など評価に係る基本的な事項を理解すると共に、簡単にできる評価手法を使って実際に組織評価作業を行います。

組織編
説明する
力

組織を伝えるための会計

講師: 三澤 章 (特定非営利活動法人 あおもりNPOサポートセンター 常務理事・事務局長)

この講座では、組織としてのアカウンタビリティ(説明責任)について、財務報告を通して考えます。財務諸表から読み取れるものものとは何か。会計とは何かを考えます。また、2010年に策定されたNPO法人会計基準について、他の会計基準との違い等をNPO法人会計基準のポイントを中心に学びます。

第6回 内陸会場 8/6 9:30~16:00 (調整中)
沿岸会場 8/7 9:30~16:00 (調整中)

コミュニ
ケーション編
伝える
力

組織を伝えるコミュニケーション

&

コミュニ
ケーション編
広げる
力

組織を広げるコミュニケーション

講師: 調整中

自らの団体を対外的に説明し支援者を拡大することは全てのNPOにおいて重要です。いい活動をしていてもそれを多くの人に知ってもらえなければ、多くの人々の参加を得ることはできません。魅力ある発信をするために、自らの団体のミッションを的確に把握し、ビジョンを明確にして、端的に理解する技術と、発信の手法を学びます。

お問い合わせ



認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター

www.jnpoc.ne.jp

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル245

TEL: 03-3510-0855 FAX: 03-3510-0856

市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト 集合研修「NPOを磨く15の力」お申込書

可能でしたら下記サイトからお申し込みください

www.jnpoc.ne.jp/form/15.html

FAX でお申し込みの場合は FAX: 03-3510-0856

ふりがな			
お名前			
ご所属			
ご連絡先	〒		
<input type="checkbox"/> 自宅	都道府県	市区町村	
<input type="checkbox"/> 職場			
TEL	FAX		
Email			
備考欄			

※本参加申込書に記載された個人情報については、会場受付での本人確認、当日配布用参加者名簿作成、今後の同種の講座等のご案内の目的により使用するもので、その他の目的には使用いたしません。

※参加者名簿への不掲載をご希望の場合は備考欄にその旨をご記載ください。

参加を希望される回の会場名に○をつけてください。

※資料代として各回 1,000 円を当日会場で申し受けます。

第 1 回 (1 日目)	5/30	第 4 回	7/6	7/7	
日本と岩手の NPO のカタチ	花巻	思いを受け止め共感を広げる	内陸	釜石	
価値を生み出す NPO の姿	花巻	ボランティアコーディネート			
第 1 回 (2 日目)	5/31	安心・納得・自己実現の労務管理	内陸	釜石	
思いを形に、共感を得る企画	花巻	健全で成果が出るパートナーシップ	内陸	釜石	
第 2 回	6/11	6/12	第 5 回	7/23	7/24
事業計画を単年度と中長期で捉える	北上	大槌	やれば役立つラクラク評価	内陸	釜石
組織の財源のあり方と資金管理	北上	大槌	組織を伝えるための会計	内陸	釜石
第 3 回	6/25	6/26	第 6 回	8/6	8/7
パワーを生み出す組織のあり方	花巻	釜石	組織を伝えるコミュニケーション	内陸	沿岸
ここで差が出るマネジメント	花巻	釜石	& 組織を拡げるコミュニケーション		
成長する人づくり	花巻	釜石			